

六甲アイランドマリンパークの海釣り広場の管理等
に関するサウンディング型市場調査結果

参加事業者	8社
運営	<p>○アクセスもよく公園内で気軽に釣りができる環境づくりを意識して釣りゾーンの運営をした方がよい。</p> <p>○全ての釣り客を対象にするのではなく、ファミリーや初心者向けの釣り場として運営しても十分に利用者が見込まれる。</p> <p>○時期によって開園時間の変更を検討した方がよい。 (早朝・夜間営業)</p> <p>○利用料金のみで運営費を賄うには施設規模が小さい。</p> <p>○有料運営では釣りゾーンの24時間開放は管理費用が高額となり難しい。</p> <p>○受付事務や釣具販売・レンタルを行う管理棟は必要。</p> <p>○無料運営では地域の方の不安点の解消(安全・清掃・景観)は難しい。</p>
安全管理	<p>○釣りゾーン内でのルール(遠投を伴う投げ釣り禁止等)を設ける方がよいが、ルアー釣りのニーズは高い。</p> <p>○公園利用者向けの釣りゾーンへの立入に関する注意看板の設置は必要。</p> <p>○釣りゾーンの奥行(12m)は十分にあるので、釣りゾーンに入らない限りは公園利用者の安全は一定担保されるが自己責任であることの啓発は必要。</p> <p>○救命道具(浮輪等)などは必要。</p> <p>○子供はライフジャケットを着用し、大人も推奨すべき。</p>
利用料金	<p>○利用料金は魚の釣れ具合をみて設定すべきだが、1,000円程度ならとれるのではないか。</p> <p>○利用料金が安すぎるとマナーが悪くなる傾向にある。</p> <p>○ファミリーや初心者は釣果よりも釣り体験を重視するため、利用時間に応じた料金設定もよい。</p> <p>○シーズンや営業時間によって利用料金を変動させてもよい。</p> <p>○アプリにより事前決済を行っている事例がある。</p> <p>○清掃協力金を徴収し運営費に充てる施設もある。</p>
警備	<p>○警備に力を入れすぎて費用がかさむのは問題。</p> <p>○有料運営として営業中はスタッフを常駐させ、営業時間外には閉鎖・施錠し防犯カメラによる警備を行う。</p> <p>○無料運営であっても、ある程度の期間は利用ルールを浸透させるため警備員による巡回を行う方がよい。</p>

清掃	<p>○利用者のマナーが向上してきており、利用時にゴミ袋の配布のみでゴミ箱の設置は不要。</p> <p>○海や公園内のゴミ投棄を防ぐために、ゴミ箱の設置（最低3か所）はあればよい。</p> <p>○トイレ等の周辺施設についても清掃頻度を増やしたほうがよい。</p> <p>○ボランティアによる清掃事例もある。</p>
賑わいづくり	<p>○定期的に定員60～80人程度の釣りイベントや、地元の方や小学生を招待し体験会等を行うべき。</p>
その他	<p>○周辺施設（大学、BBQ場、レストラン等）との協働を行うべき。</p> <p>○利用者向け広告による収益確保も可能。</p> <p>○餌・釣具の自動販売機のニーズも高い。</p>